

# 日本語の「あなた」の本質と日本語の初級教育における「あなた」の必要性

村松 恵子・謝 敏華

## 目次

1. はじめに
  2. 「あなた」に関する従来の研究
  3. 実証分析
    - 3.1 言語資料
    - 3.2 「あなた」の実態
      - 3.2.1 「あなた」の分析のベースとなる2つの観点
      - 3.2.2 「あなた」の使用の実例
        - 3.2.2.1 社会的上位者が下位者に対して「あなた」を使用する場合
        - 3.2.2.2 社会的に同等な関係にある相手に対して「あなた」を使用する場合
        - 3.2.2.3 社会的下位者が上位者に対して「あなた」を使用する場合
        - 3.2.2.4 社会的上下関係が明確である両者がともに「あなた」を使用する場合
        - 3.2.2.5 社会的上下関係が微妙である相手に対して「あなた」を使用する場合
        - 3.2.2.6 社会的上下関係が微妙である両者がともに「あなた」を使用する場合
        - 3.2.2.7 社会的関係が不明である両者がともに「あなた」を使用する場合
    - 3.3 「あなた」のまとめ
  4. 「あなた」の本質
    - 4.1 「二人称代名詞」と「対称詞の人称名詞」
    - 4.2 「あなた」と対称詞の中のその他の人称名詞との相違
      - 4.2.1 「あなた」と「お前」、「あんた」、「君」
      - 4.2.2 「あなた」の本質
  5. 日本語の初級教育における「あなた」の必要性
  6. おわりに
- 参考文献

## 1. はじめに

「あなた」は日本語母語話者同士の間では非常に限られた環境においてしか使用されない。しかし「あなた」はほとんどの日本語入門テキストで早期の段階から導入される語彙である。現在、世界中で一番多く使用されている日本語の入門テキストである『みんなの日本語』（出版社：スリーエーネットワーク）では、第1課で

「あなた」が導入されている。実際には、あまり使用されないにもかかわらず、日本語の初級教育において、多数ある日本語の対称詞の人称名詞の中から、何故に「あなた」が選択されて教育されているのであろうか。

本稿では、日本語の「あなた」の実態を検証し、さらに「あなた」とその他の対称詞の人称名詞との相違を比較分析することによって「あなた」の本質を解明する。それによってさらに

日本語の初級教育において、「あなた」が教育される必要性についても考察していく。

## 2. 「あなた」に関する従来の研究

従来の「あなた」に関する分析は、凡そ以下の2つの観点とそのベースとなっている。

- i. 話し手と聞き手の社会的上下関係
- ii. 話し手の聞き手に対する心理的評価

例えば i. の観点として、田窪 1997 では、聞き手を表す語類（あなた、君、おまえ等）は使用に制限があり、基本的に目上の相手には使うことができないと記述されている<sup>(1)</sup>。また鈴木 1973 には「一般に「あなた」は「きみ」「おまえ」「きさま」などに比べて、敬語とまではいかずとも、品の良いことばと受け取られているにもかかわらず、実際には目上に向かって使いにくいことばなのである。」と述べられている<sup>(2)</sup>。さらに鈴木 2009 では「普通は目上、上司に対して、よほどのことでもない限り、〈あなた、あんた〉などの代名詞を使うことはありません。」と書かれている<sup>(3)</sup>。

ii. の観点としては、大高 1999 では、「現在では、周知の通り、「あなた」は日常会話の中では主に面識があってある程度親しい目下のものに対する「親しみ」の気持ちを表す語として用いられる場合が多い。」とある<sup>(4)</sup>。さらに Kumiko Takahara 1992 では、「あなた」を使用する場合、相手に敬意を払ったり、相手を遠ざけたりする過程で、何らかの距離を示す機能

(distancing function) が働いているのではないかと示唆している。また下谷 2012 では「あなた」の使用者が話者の認識的優位性 (epistemic primacy) に志向した発話の中で現れると指摘している。この「認識的優位性」も話し手の聞き手に対する心理的評価と判断できる。そして「そのため、「あなた」の使用は、結果的に、聞き手との間に心理的な距離をもたらす、客観性 (objectivity) や中立性 (neutrality) を帯びた発話態度から、聞き手を突き放すような態度や聞き手への批判、非難といった感情的な態度を示すことにつながる。」と述べられている<sup>(5)</sup>。

このように、従来「あなた」の研究は i. と ii. の観点とそのベースとなっていると言える。

## 3. 実証分析

以下では、実際に「あなた」がどのような環境の中で使用されているのか、分析していく。

### 3.1 言語資料

今回の考察には、2013年に日本のテレビで放映されたドラマ「半沢直樹」のシナリオを言語資料として使用した<sup>(6)</sup>。

「あなた」を分析するための言語資料としては、実際に「あなた」が用いられている現場をビデオに撮影し、それを言語資料とするのが一番よい方法であるが、これは現実的には非常に難しい方法である。そこで今回はドラマ「半沢

(1) 田窪 1997 の「1. はじめに」参照。

(2) 鈴木 1973 の p. 132 参照。

(3) 鈴木 2009 の p. 168 参照。

(4) 大高 1999 の p. 29 参照。

(5) 下谷 2012 の p. 88 参照。

(6) 台湾のインターネット上の「Love TV Show 日本電視劇」で放映されている「半沢直樹 (第1集~第10集)」の日本語字幕を言語資料とした。

直樹」のシナリオを言語資料として使用した。

数多くある日本のドラマの中で「半沢直樹」を選んだ理由は、第一に現代日本社会を扱っており、現代日本社会の中のさまざまな階層の人間が登場するからである。さらに、そこで使用されている日本語は、一部の関西方言を除いて、現代日本語の共通語と認識できると判断したからである。

### 3.2 「あなた」の実態

ここからは、ドラマ「半沢直樹」に出てきた「あなた」の使用例を分析していくが、まず3.2.1において、分析のベースとなる2つの観点を整理する。

#### 3.2.1 「あなた」の分析のベースとなる2つの観点

上記の2. で述べた i. と ii. の2つの観点を整理すると下記ようになる。

まず i. の「話し手と聞き手の社会的上下関係」に関しては下記の7種類の例があった。

- (1) 社会的上位者が下位者に対して「あなた」を使用する場合
- (2) 社会的に同等な関係にある相手に対して「あなた」を使用する場合
- (3) 社会的下位者が上位者に対して「あなた」を使用する場合
- (4) 社会的上下関係が明確である両者がともに「あなた」を使用する場合
- (5) 社会的上下関係が微妙である相手に対して「あなた」を使用する場合
- (6) 社会的上下関係が微妙である両者がともに「あなた」を使用する場合
- (7) 社会的関係が不明である両者がともに「あなた」を使用する場合

次に ii. の「話し手の聞き手に対する心理的評価」については、下記の3種類に分けること

ができた。

- ア. 相手をプラス評価するもの。
- イ. 相手をマイナス評価するもの。
- ウ. どちらとも言えないもの。

以下では、i. の「話し手と聞き手の社会的上下関係」の(1)から(7)の順に実例を分析し、ii. のア. からウ. との関連を考察していく。

#### 3.2.2 「あなた」の使用の実例

##### 3.2.2.1 社会的上位者が下位者に対して「あなた」を使用する場合

下記の例(1)は、同一組織内において上位者が下位者に対して「あなた」を使用している例である。

例(1)の具体的な上下関係＝

(上位者) 東京中央銀行融資部部長の定岡



(下位者) 東京中央銀行大阪西支店融資部課長の半沢直樹

例(1)は、東京中央銀行大阪西支店の西大阪スチールに対する融資失敗の件について、半沢直樹に対して聞き取り調査が行われている場面(第1話)の会話である。

半沢が融資部課長として勤める大阪西支店において、支店長の鶴の一声で西大阪スチールへの無担保での5億円融資が決まった。しかしその後、優良企業と思われていた西大阪スチールの粉飾決算が発覚して倒産したため、東京中央銀行大阪西支店は5億円の損失を被った。そしてその責任を追及するために、半沢は東京本店へ聞き取り調査に呼ばれた。例(1)は、この件に関して半沢に聞き取り調査が行われている場面の会話であり、同一社内において上位者である定岡が調査する側であり、下位者の半沢が調査される側という立場にある。

ここでは「定岡2, 定岡3, 定岡4」で半沢に対して「あなた」が使用されている。

### 例(1)

- 定岡1 : 半沢融資課長, 座ってください。
- 半沢1 : いえ, このままで結構です。
- 定岡2 : まあいいでしょう。もう分かっているとは思いますが, 今日来ていただいたのは, あなたが行った西大阪スチールへの5億の融資の件です。あなたの報告によれば, 5億損失の原因は, 同社の決算書が粉飾されていたことだとある。しかしね, 最初の段階でそれが見過ごされてしまったことの方が重大な問題だと我々は考えています。どうしてそんなミスが起きたのか? 理由を聞かせてください。
- 半沢2 : 緊急稟議ということで, 十分に審査する時間がありませんでした。
- 小木曾(人事部次長)1 : 君はろくに審査もしないものを上に上げたのかね? 融資課長が聞いてあきれよ。まったく!
- 定岡3 : 十分に審査もできなかったにもかかわらず, あなたは川原調査役に融資を許可するように, 強く迫ったそうでしょうね。
- 小木曾2 : ゴリ推しだったそうじゃないか?
- 定岡4 : あなたの無責任な審査のせいで, 5億の損失が出ているんですよ。そのことをどうお考えですか?
- 小木曾3 : 黙ってないで, 何とか言いたまえ! まずは謝罪の一言があつてしかるべきじゃないかね?
- 半沢3 : どうも申し訳ありませんでした。今回の融資に関して, 私に, 私に責任の一端があることは謝罪いたしま

す。

小木曾4 : 一端?

半沢4 : ですが, 私一人に全ての責任を押し付けられる事は, 納得いたしかねます。あの稟議に関して, 全て上の指示に従ったまでのこと。私が審査をする前に, 稟議書は取り上げられ, 本部へと送られました。

ここで東京本店融資部部長である定岡が半沢を「あなた」と呼ぶその意識下には, 半沢に対して以下の4つの認識がある。

- ①自分は同一組織内において半沢の上位者であるという認識
- ②自分は聞き取り調査において尋問する側であるという上位者の認識
- ③聞き取り調査という公的な場面であるという認識
- ④融資失敗の責任は半沢にあるという明確な認識

これらの4つのうち①と②は定岡の「自分の方が上位者である」との認識に集約でき, ③は公的な場面であるということから, 相手に対して丁寧な対応が求められるという認識がある。また④は下谷2012の言う話し手の「認識的優位性(epistemic primacy)」と判断でき, これにより負の心理的距離感が生まれている。

次の例(2)も上位者が下位者に対して「あなた」を使用している例である。

例(2)に登場する「江島」は半沢直樹が勤めている東京中央銀行大阪西支店の副支店長である。行員の妻達の間の上下関係も夫の会社内での地位に準ずるため, 支店長夫人がいないことで, ここでは副支店長江島の妻が社宅のリーダー的存在となっている。

例(2)は行員の妻達が社宅で月例お茶会を開いている場面(第1話)で, この席での最上位者は江島副支店長夫人である。ここでは江島の妻

が半沢の妻の「花」を「あなた」と呼んでいる。

例(2)の具体的な上下関係＝

(上位者) 東京中央銀行大阪西支店副支  
店長 (江島) の妻

↓

(下位者) 半沢直樹の妻の花

「花」はお茶会の差し入れを買ってくるために少し遅刻したのだが、そのことで江島の妻は「江島の妻1」で「花」に嫌味を言い、その中で「花」を「あなた」と呼んでいる。

例(2)

行員の妻 A1：7月14日に大阪中央店、難波店、天王寺店と大阪支店の合同バーベキュー大会を行います。

妻達： よろしくお願いします。

行員の妻 A2：バーベキューの準備の分担ですが、融資課はバーベキューの食材を……

(半沢の妻の花が入ってきた)

江島の妻1： あなた若いんだし、もっと気を使わないと。ご主人はの中で偉い方かも知れないけど、あなたが違いわけじゃないんだから。それにご主人の状況を考えたら、遅れて来るなんて普通できないでしょう。で、どうして遅れたの？ わけは？

半沢の妻1： 奥様に召し上がっていただきたくて、朝からミナミに並んだんですけど、予想以上に込んでおりまして……

江島の妻2： あら、宗右衛門町ロールじゃない？

半沢の妻2： はい。

江島の妻3： この前もお誕生日に素敵なス

カーフ頂いて、悪いわね。

半沢の妻3： いえいえ、そんな。

江島の妻4： でもごめんなさい。主人がね、我にはちょっと地味だって言うもんだから、芳江さんに差し上げたの。いいわよねえ？

半沢の妻4： いえいえ、そんなお気になさらないでください。

江島の妻5： ちゃんとあなたにも余ってるスカーフ差し上げようと思って用意してあるのよ。

ほら、いいじゃない？

角田の妻： さすが早苗さんのお見立てやわ。ようお似合いよ、花さん。ご主人ほれ直すんちゃうの？

半沢の妻5： ありがとうございます。

「江島の妻4」では江島の妻が夫の部下の角田の妻を「芳江さん」と呼び、角田の妻も江島の妻のことを「早苗さん」と名前呼び合っており、妻達にはこういう名前呼び合う関係が作られている。そして角田の妻は半沢の妻を「花さん」と呼んでいるが、江島の妻は一貫して「花」を「あなた」と呼び、さらに「江島の妻5」では、「ちゃんとあなたにも余っているスカーフ差し上げようと思って用意してあるのよ。ほら、いいじゃない？」と言って、「余っているスカーフ」をやるという、「花」を見下した威張った態度をとっている。

例(2)で江島の妻が「花」を「あなた」と呼ぶその意識下には以下のような認識がある。

- ①自分は社会的に「花」の上位に位置する。
- ②まだ「月例お茶会」に参加した回数が少ない「花」との間には親しみの感情はなく、心理的に距離感がある。
- ③「花」との間に親しみの感情はないが、夫の部下の妻であるので丁寧に接する必要性を認識している。

やはりここでも例(1)と同様に、江島の妻は、自分は相手より上位者であるという認識と相手に対する心理的距離感および相手に丁寧に接する必要性の認識により、夫の部下である半沢の妻「花」に対して「あなた」を使用している。

例(1)と例(2)では、上位者が下位者に対して「あなた」を使用することにより、丁寧さは含意されてはいるものの、相手に対する威圧的な態度が示されている。大高1999では「現在では、周知の通り、「あなた」は日常会話の中では主に面識があってある程度親しい目下のものに対する「親しみ」の気持ちを表す語として用いられることが多い。」と述べられている(2. を参照)が、今回の言語資料の中には、上位者が下位者に対して、「親しみ」の気持ちを持って使用されている「あなた」の例は1例もなかった。つまり、「面識があってある程度親しい目下」に使用する場合と、「あまり面識がない目下」に使用する場合とでは、「あなた」が相手に与える語感には相当な開きがあるということが言えそうである。

### 3.2.2.2 社会的に同等な関係にある相手に対して「あなた」を使用する場合

ここでは同一組織内の同等な関係にある二人の間で「あなた」を使用している例を分析していく。

下記の例(3)は、東京中央銀行東京本店の社員食堂での場面(第8話)である。東京中央銀行東京本店営業第二部次長の半沢直樹と東京中央銀行東京本店融資部次長の福山啓次郎は同期入社の関係にある。

#### 例(3)

半沢1：お久しぶりです。福山次長！

福山1：ああ、これはこれは半沢次長。この度は模擬金融庁検査などという妙なこと

になってしまいましたが、一つお手柔らかに。

半沢2：こちらこそ。

福山2：(手に持っているタブレットを見ながら)半沢直樹、1992年入行。2001年から大阪西支店に融資課長として勤務。年間4%の収益アップを実現し、業績不振だった同支店を2年で立て直したのね。支店長が起こした5億の融資事故を見事に回収し、本部営業第二部へ栄転。その後も野川証券、帝国重工などとの取り引きを着実に成功させ、これまでに45億円の利益を計上している。なかなかたいしたもんです。ですが、あなたの取り引きには結果が出るまでに時間がかかる傾向がありますね。平均21ヶ月、一件一件とじっくり長く付き合うというやり方も別に否定するつもりはありませんが、私ならもっと短時間で効率よく利益を上げられますがね。今伊勢島ホテルに必要なのはどちらでしょうかね。すいませんが、次の案件がありますので……(去っていく)。

融資部次長の福山は、大和田常務から、半沢に代わって伊勢島ホテルの担当に指名され、また、模擬金融庁検査の検査官にも指名された。半沢と福山は東京中央銀行の同期であり、社内での地位にも上下関係はなく、社会的には同等の関係と判断できる。

この場面の最初では二人はお互いに役職名で呼び合っている。福山はデータアナリティクスを得意としており、「福山2」ではタブレットのデータを見ながら半沢に話しかけ、そこで同期である半沢に「あなた」を使用している。

ここで半沢に「あなた」を使用した福山の意識下には、以下の認識がある。

- ①半沢と福山は同期で同等な立場であり、行内における地位においても上下関係はないが、大和田常務から、半沢に代わって伊勢島ホテルの担当に指名されたことと、模擬金融庁検査の検査官に指名されたことにより、福山には、検査される側の半沢に対して、自分の方が上であるとの認識がある。
- ②両者の間には同期であるという親しみの感情はなく、福山には模擬金融庁検査の検査官として半沢を打ち負かそうというライバル心が強く感じられ、そこには負の心理的距離感がある。
- ③模擬金融庁検査の検査官としての認識から、相手に対して丁寧な口調で接しようとしている。

つまり、例(3)は会社の同期の二者間での会話ではあるが、福山には自分の方が半沢より上位であるという認識と半沢に対する負の心理的距離感があり、さらに半沢に丁寧に接しようとする意識から「あなた」を使用している。

次の例(4)も社会的に同等な関係と判断できる例である。

下記の例(4)は、半沢直樹の自宅での半沢と妻の花が会話している場面(第10話)である。半沢の妻の花は、例(4)の「花5」と「花6」にみられるように、通常、夫のことを「直樹」と名前で呼んでいる。その妻の花が「花5」において夫に対して「あなた」を使用している。

#### 例(4)

半沢1：ただいま。

花1：お帰り！

(花が半沢の目を両手で隠す)

半沢2：痛っ、何だよ、花！

花2：いいの、いいの、黙ってついてきて。

はい、ジャジャー、花ちゃんの手作りシフォンケーキで〜す。半沢次長、

金融庁検査の長〜い戦い、お疲れ様でした。これで出向しなくて済むんでしょう？ 隆博の夏休みあと一週間あるから、海外はもう無理なんだけど、国内なら全然行けるから。

ほら！ どこにする？ (旅行広告を半沢に見せて) これ、沖縄！

半沢3：ごめん、まだどうなるか分かんないんだ。もしかすると次の取締役会で出向決まるかもしれない。

花3：なんで？ 伊勢島ホテルも救って、金融庁検査も乗り切ったんでしょう？

半沢4：ごめん、そういうことになってるんだよ。

(花が部屋から自分で作ったネジを持ってきて、半沢に見せる)

花4：この前、金沢行った時に作らせてもらったの。それもお父さんのネジと一緒に持ってて、お守りの代わりに。黙ってやられるつもりなんかないでしょう？ 大和田なんかに。

お義母さんから全部聞いた。

半沢5：ごめんな、ずっと黙ってて。

花5：ううん、色んな思いはあるかもしれないけど、ここまでやってくれた直樹を天国でお義父さんもものすごく誇りに思ってると思う。銀行を変えたいって話してくれたけど、私すごく感動したし、応援したいと思った。

私……あなたを一人の人として尊敬するわ。

半沢6：花……

花6：だからさ、これで負けたら負けたでいいじゃん？ 直樹から見たら銀行なんてこんなに大きいかもしれないけど(両手で大きい円を示す)、世間から見たらこんなもんだよ(両手で小さい円を示す)。出向になれば、外から銀行

見れるわけだし、銀行を変えていくの  
にいい経験になるんじゃない？ 出向  
が怖くて、銀行員できるか！？ そんな  
気持ちでさ、大和田にぶち当たれ！

例(4)の「花5」における「あなた」は、通常、  
夫のことを名前で「直樹」と呼んでいる妻の花  
の言動から、日本社会において妻が夫を配偶者  
として呼ぶときの「あなた」とは異なると判断  
できる。ここでは同等の関係にある妻が夫に対  
して、自分の夫を「一人の人間として尊敬する」  
という見解を述べるために、名前を使用するの  
ではなく、「あなた」を使用している。つまり、  
ここで「花」が夫に対して「あなた」を使用し  
た意識下には、夫を、自分の夫としてではなく、  
一人の人間対人間として客観的に捉えていると  
いう認識と、相手を尊敬するというプラス評価  
の心理的距離感がある。そしてこれらの認識を  
相手に伝えるために、丁寧さを含意している「あ  
なた」が選択されたと見ることができる。

以上、上記の例(3)と例(4)から、社会的に同等  
な関係にある相手に対して「あなた」を使用す  
る場合には、例(3)のように、自分の方が上位者  
であるという認識の場合があり、また例(4)のよ  
うに、相手を一人の人間対人間として客観的に  
捉えている場合もある。心理的距離感を生む評  
価についてはプラスの場合とマイナスの場合と  
があり、そしてさらにそこに相手に対する丁寧  
さを加えるために「あなた」が使用されている。

### 3.2.2.3 社会的下位者が上位者に対して「あ なた」を使用する場合

ここでは、社会的上下関係において下位者が  
上位者に対して「あなた」を使用している例を  
見ていく。

例(5)は東京中央銀行東京本店営業第二部次長  
の半沢直樹が、上司である常務の大和田暁に対

して「あなた」を使用している例である。

例(5)の具体的な上下関係＝

(上位者) 東京中央銀行東京本店常務の  
大和田暁

↑

(下位者) 東京中央銀行東京本店営業第  
二部次長の半沢直樹

例(5)は、東京中央銀行東京本店の廊下で半沢  
がいつも持っているネジをうっかり床に落と  
し、それを拾おうとした大和田常務に向って「あ  
なた」を使用している場面(第9話)である。

#### 例(5)

半沢 1 : お止めください。そのネジはあなた  
に拾ってほしくはありません。

大和田 1 : なぜだね？

半沢 2 : (ネジを拾ってから、常務に見せ) お  
分かりになりませんか？ そうで  
しょうね。

あなたはそのようなお方です。です  
が、いずれ嫌でも分かっていたく  
ことになる。

大和田 2 : 残念だな。いずれという話ができる  
ほど君との時間は残っていないかも  
しれないね。

半沢 3 : 出向ですか？

大和田 3 : 金融庁検査で結果が出せなければ、  
そうなって当然だろう。

半沢 4 : 大和田常務、あなたにとって私はた  
かがトカゲの尻尾かもしれません。  
ですが、切られた尻尾はしばらく暴  
れ回ります。どんな動きをするか分  
かりませんよ。お気をつけくださ  
い。

半沢が幼いころ、当時、半沢の父親の工場の

融資担当だった大和田が半沢の父の工場への融資を断り、その結果、半沢の父親は自殺へと追込まれた。そのため半沢は大和田を憎んでいる。

例(5)では、半沢の亡き父の形見であるネジを大和田が拾おうとしたのを、半沢が強く制止し、「半沢1」で「お止めください。そのネジはあなたに拾ってほしくはありません。」と大和田に冷たく言っている。半沢は大和田に対して私的な恨みがあるが、冷静さを装って、堂々とした態度で大和田を「あなた」と呼んでいる。さらに「半沢2」と「半沢4」でも一貫して大和田を「あなた」と呼んでいる。

ここで半沢が大和田を「あなた」と呼ぶ際の意識下には、社会的上下関係としては大和田より自分の方が下であるが、人間としては自分は大和田と対等であるという強い認識がある。そして私的な恨みを抱えている半沢には大和田に対する負の心理的距離感があるが、しかし冷静かつ礼儀正しく大和田に対応するため、大和田を「あなな」と呼んでいる。

下記の例(6)も、社会的上下関係において下位者が上位者に対して「あなた」を使用している例である。

例(6)は、上位者の弱みを握っている下位者が上位者を「あなた」と呼ぶ例である。

例(6)の具体的な上下関係＝

(上位者) 東京中央銀行東京本店常務の大和田暁  
↑  
(下位者) 東京中央銀行から融資を受けているタミヤ電機社長の田宮基紀

例(6)

田宮1 : もしもし、田宮ですが。

大和田1 : 困りますね、田宮社長！ こう度々

掛けては。

田宮2 : 例の件が露見しそうだというのは本当ですか？

大和田2 : 誰がそのようなことを？

田宮3 : うちの近藤です。

大和田3 : 彼はもうすぐいなくなります。問題ありませんよ。

田宮4 : 本当ですか？ 既に銀行の知り合いに話したと言ってますが。

大和田さん、金いつ返してくれるんですか？

大和田4 : 悪いが、今取り込み中でね、その話はまた今晚にでもゆっくりと。

田宮5 : あなたあの時すぐに返すって言いましたよね？

大和田5 : ですが、こうも言ったはずですよ、あくまでも私は関与していないと。では！

例(6)はタミヤ電機社長の田宮が、東京中央銀行東京本店常務の大和田と電話で話している場面(第9話)である。田宮は大和田に頼まれて、東京中央銀行から融資を受けた3千万円を大和田の妻の会社に転貸した。しかし田宮は、東京中央銀行からタミヤ電機に出向してきた近藤に、大和田に利用されたのだと言われ、動揺して大和田に電話をした。その電話での会話が例(6)である。

例(6)において田宮は「田宮4」で大和田を「大和田常務」と役職で呼ぶのではなく「大和田さん」と呼んでいる。この呼び方で、大和田と田宮の関係が、単に融資している大銀行の常務と、融資を受けている中小企業の社長という関係ではないことがわかる。そしてさらに田宮は「大和田4」での大和田の自分に対する冷たい対応に反応して、「田宮5」では大和田のことを「あなた」と呼んでいる。

例(6)での田宮の意識下には、自分は大和田の

弱みを握っており、自分は決して大和田より下ではない、あるいは対等であるという認識があると判断できる。さらに田宮は大和田に対して不信感を抱いており、負の心理的距離感がある。しかし田宮はあくまで冷静に丁寧に大和田に接する意識から、大和田を「あなた」と呼んでいる。

もう1つ、社会的上下関係において下位者が上位者に対して「あなた」を使用している例を見ていく。

下記の例(7)は、客として海外不動産投資会社(東アジアリゾート)を訪ねた半沢直樹が、その会社の女子社員に「あなた」と呼ばれる例(第2話)である。客としての半沢直樹と女子社員の社会的上下関係は、当然、客としての半沢直樹の方が上位者である。

例(7)の具体的な上下関係＝

(上位者) 客としての半沢直樹

↑

(下位者) 東アジアリゾートの女子社員

#### 例(7)

半沢1 : そうか、マレーシアとかケアンズなんかでもいいかな。

女子社員1 : どちらも人気ですよ。失礼ですが、ご予算はおいくらぐらいお考えですか？

半沢2 : 5千万ぐらいです。

女子社員2 : それでしたら、かなりいい物件が選べますよ。ちなみに、うちはどこなにかのご紹介で？

半沢3 : ええ、西大阪スチールの東田社長です。

女子社員3 : ああ、そうですか？

半沢4 : そう言えば、東田さんどこに買ったって言ってましたっけねえ。

女子社員4 : あなた債権者の方ですか？ 西大

阪スチールが倒産してからそうやって東田社長のことを聞きに来る債権者の方は後を絶ちません。

半沢5 : いえ、私は……

女子社員5 : どなたであれ、お客様の個人情報をお教えするわけにはいきません。社の信用に関わりますので、どうぞお帰りください。

計画倒産によって東京中央銀行から融資金5億円を騙し取った西大阪スチール社長の東田が、海外不動産投資会社の「東アジアリゾート」から5千万円の投資物件を購入したことを突き止めた半沢直樹が、東田のことを調べるために、客を装ってこの会社を訪ねた。

例(7)の「半沢3」で、半沢は東田の紹介でこの会社に投資物件を探しに来たと女子社員に言った。しかし、「半沢4」での半沢の発話内容に不信感を持った女子社員は、「女子社員4」で半沢のことを「あなた」と呼んでいる。通常のビジネスの状況下において、客に対して「あなた」と呼ぶことはあり得ない。しかし、客としての半沢に対して疑念を抱いた女子社員は、半沢のことを「あなた」と呼んでいる。

ここで女子社員は半沢のことを普通の客ではないと判断したため、自分を半沢より下位に置くことをやめ、自分を半沢と対等の位置まで引き上げた。そして半沢に疑念を抱いたことによって心理的距離感が生まれ、また不審な相手ではあるが、店の中という公的な場面での対応であるので、半沢に対して丁寧さを伴う「あなた」を使用している。

以上、例(5)、例(6)、例(7)において、社会的下位者が上位者を「あなた」と呼ぶ例を見てきた。

先の2. で参照したように、鈴木2009では「普通は目上、上司に対して、よほどのことでもない限り、〈あなた、あんた〉などの代名詞を

使うことはありません。」と書かれている。例(5)においては半沢が上司である大和田に憎しみを抱いており、例(6)においては、田宮が融資してもらっている銀行の常務である大和田の弱みを握っている。また例(7)では客を装った半沢に女子社員が疑念を抱いている。このような状況が鈴木 2009 で述べられている「よほどのこと」なのである。

これらの例からわかるのは、社会的関係において下位である者が上位である者に対して「あなた」を使用するのは、下位者が上位者に対して通常ではあり得ない何らかの負の心理的感情を抱いている場合であることが分かる。そして社会的関係としては下位に位置しているが、人間としては対等であるとの認識に立った場合に、下位者が上位者と対等な位置まで自分を押し上げ、しかし相手に対する丁寧さは失わせないために、丁寧さを含意している「あなた」を使用すると言うことができる。

### 3.2.2.4 社会的上下関係が明確である両者がともに「あなた」を使用する場合

下記の例(8)は、異なる組織に所属する二人が、互いに相手を「あなた」と呼ぶ例である。この場合、異なる組織ではあるが、その社会的上下関係は明確である。

例(8)の具体的な上下関係＝

(上位者) 東京中央銀行東京本店営業第二部次長の半沢直樹

↓↑

(下位者) 伊勢島ホテル社長の湯浅

例(8)は伊勢島ホテルの社長室での会話(第7話)である。東京中央銀行が経営不振である伊勢島ホテルに融資している関係から、組織対組織の関係で見れば、当然、半沢の方が伊勢島ホテル社長の湯浅より上ということになるが、こ

こでは半沢と湯浅はお互いにお互いを「あなた」と呼んでいる。

#### 例(8)

湯浅 1 : 本気でおっしゃってるんですか？

半沢 1 : はい。

湯浅 2 : 父の会長を更迭しろと？

半沢 2 : 絵画を売ることを許していただけないのなら、会長の力を奪うしかありません。

湯浅 3 : しかし私の一存ではどうにもならない。取締役会にかけて、半数以上の同意を得なければならぬ。羽根さんを支持する者達が同意するとは思えない。

半沢 3 : それでもやってもらわねばなりません。人事権を使って脅してでも同意させるんです。社長のあなたならできるはずだ。

湯浅 4 : 父を更迭するために社員を脅せというんですか？

半沢 4 : そのとおりです。先代の残した悪しき風習を断ち切るつもりなら、あなた自身の手で会長からこの伊勢島ホテルを取り上げるべきだ。

湯浅 5 : あなたはひどい人だな！

半沢 5 : 湯浅社長、あなたは私におっしゃいましたね。古き悪しき伝統を拭い去り、新しい伊勢島ホテルを築きたいと。あなたのビジョンは間違っていない。あとはそれを成し遂げる強い信念を持てるかどうかです。伊勢島ホテルを救う可能性が1パーセントでもあるのなら、私は鬼にでも悪魔にでもなる。

例(8)では「半沢3」、「半沢4」、「半沢5」で半沢が湯浅社長を「あなた」と呼んでいる。

半沢は伊勢島ホテルに融資をしている東京中

中央銀行の東京本店営業第二部次長であり、さらに伊勢島ホテル再建の担当者という立場でもあり、湯浅社長より上位者であると判断できる。そして「半沢3」、「半沢4」、「半沢5」の発話では、半沢は湯浅に対して高圧的な口調で、父親を更迭することがホテルを救うことになるという、自身の見解を湯浅に伝えている。このように、半沢には自分は湯浅より上位者であるという認識が強くあり、さらに高圧的な口調から半沢の湯浅に対する心理的距離感を伺い知ることができる。そして相手は融資先の社長であるので、当然丁寧な対応が求められる。このような認識の上に立って半沢は湯浅を「あなた」と呼んでいる。

一方、湯浅も「湯浅5」で半沢を「あなた」と呼んでいる。湯浅は半沢が他のホテルを再建した件で、半沢を信頼のおける銀行マンだと判断し、そこで東京中央銀行頭取に半沢を伊勢島ホテル再建担当者とするよう直接推薦した。このような経緯から、湯浅の半沢に対する認識には、融資元の銀行マンということだけではなく、人間として半沢を信頼しているという感情が含まれていると判断できる。湯浅にはこのような心理的な素地があり、湯浅は人間対人間として対等な関係という気持で半沢に接しているということができる。しかし「湯浅5」から、半沢の判断は冷徹であると認識していることがわかり、そこに心理的距離感がある。さらに仕事上の会話であるという認識から、相手に丁寧に接する必要性があり、それによって湯浅は半沢を「あなた」と呼んでいる。そして両者がともに相手を「あなた」と呼ぶことにより、そこには対等に対立した緊張関係が生じている。

下記の例(9)も、異なる組織に所属する二人がお互いを「あなた」と呼ぶ例である。

例(9)の具体的な上下関係＝

(上位者) 金融庁検査官の黒崎

↓↑

(下位者) 東京中央銀行東京本店営業第二部次長の半沢直樹

例(9)は、金融庁検査官の黒崎が東京中央銀行東京本店の地下二階にある機械室に伊勢島ホテルの不正融資の関する資料が隠されていると判断して、強引に地下二階にある機械室に行ってその資料を捜す場面での会話である(第9話)。

例(9)

頭取1：(機械室の前で) 黒崎さん、ここには何があるんですか？

黒崎1：何が入っているかは半沢次長に聞いてみて！(半沢に) ねえ？ さあ！ 開けてちょうだい、半沢次長！ あなたがなぜか鍵を持っているのは分かっているから。

半沢1：検査官にお見せするようなのは、ここにはございません。

黒崎2：お黙り！ 何でもいから、早く開けてちょうだい！

(半沢が鍵を開け、みな機械室に入る)  
あら！ こんなところに変なものがあるわよ。

さあ！ この箱の中身は何かしら？ 中身は何かって聞いているのよ。答えられないでしょう？ なら私が代わりに答えてあげる。この箱の中身は伊勢島ホテルに関する隠匿資料でしょう？ (箱を開ける)

何？ 何なの？ これ、ちょっと！

金融庁職員達：はい！

黒崎3：何なの？

(金融庁職員がもう一度箱の中身を確認)

半沢2：宴会で使う小道具ですが、それが何か？

黒崎さん、あなた何がしたいんですか？ 検査の邪魔になると思って、ここにしまっておいたんですが、金融庁は宴会道具まで検査対象にするつもりですか？

黒崎4：隠匿資料があったはずよ。半沢、隠したのね。出してちょうだい！

半沢3：そんなものは、どこにもありはしない。

例(9)では、まず「黒崎1」で黒崎が自信満々な態度で半沢を「あなた」と呼んでいる。

黒崎は金融庁検査官であり、当然社会的には半沢の上位者である。また黒崎は、西大阪スチールの融資の件で半沢に手柄をとられ、半沢に悔しい思いをさせられており、負の心理的距離感を半沢に対して抱いているが、仕事での公的な場面での対応であるので、半沢に対して丁寧さを含意する「あなた」を使用している。しかし、この地下二階の機械室で隠匿資料を見つけないことができなかった黒崎は、理性と冷静さを失って感情的になり、「黒崎4」で半沢を「半沢」と呼び捨てにしている。このことから、「あなた」は相手に対する感情を抑えた表現であるということが分かる。

次に、半沢は「半沢1」では黒崎のことを役職名である「検査官」と呼んでいる。金融庁検査官である黒崎は社会的には半沢の上位者であるので、黒崎を役職名で呼ぶこの対応は普通のことである。しかし、地下二階の機械室で隠匿資料を見つけないことができなかった黒崎に対して、強気になった半沢は「半沢2」で黒崎をまず「黒崎さん」と呼び、次に「あなた」と呼んでいる。しかも「あなた何がしたいんですか？」というように、相手に対して「～のですか？」という表現を用いて、相手を非難するような詰問の仕方をしており、黒崎に対する半沢の強気の態度が明確に表明されている。

半沢の黒崎に対する呼び方が「半沢1」の「検

査官」から「半沢2」の「黒崎さん」、そして「あなた」へと変化したことにより、その半沢の意識下には、自分は金融庁検査に対して黒崎に負けていない、つまり自分は黒崎より下ではないという認識が生まれたことが読み取れる。さらに黒崎に敵対する半沢には黒崎に対する負の心理的距離感も明確にあるが、社会的上位者である黒崎には丁寧な対応が求められるため、ここでは「あなた」が使用されている。そして先の例(8)と同様に、「あなた」と呼び合う両者の間には、対等に対立し、対峙した緊張関係が生じている。

もう1つ、社会的上下関係が明確である二者がお互いを「あなた」と呼ぶ例を見ていく。

下記の例(10)は同一組織内での上下関係は明白であるが、上位者と下位者がお互いにお互いを「あなた」と呼んでいる例である。

例(10)の具体的な上下関係＝

(上位者) 伊勢島ホテル社長の湯浅

↓ ↑

(下位者) 伊勢島ホテル専務の羽根

例(10)は、伊勢島ホテル社長の湯浅と専務の羽根が社長室で会話している場面である(第7話)。社会的通念としては当然、社長の湯浅の方が専務の羽根より上である。しかし湯浅は若い社長で、専務の羽根は先代の社長の時代からこのホテルに勤めており、気が強く独裁的で、社長の座を狙っている女専務である。したがってホテルの実権を握る関係から見ると、二人の間の上下関係は微妙だと言うことができる。

例(10)

羽根1：やっぱり無理だったようですね、会長を説得するのは。

湯浅1：羽根さん、あなた父に何を吹き込んだんです？ 父は私の話を一切聞く耳を

持たなかった。あなたから既に話は聞いてるからと言われました。

羽根2：私はただ社長が銀行に騙されてるとそう申し上げただけです。

湯浅2：騙されてる？

羽根3：ええ、銀行は金融庁検査を乗り切るために、会長の美術品を売って、目先の利益をあげようとしてるだけだと。

湯浅3：それは違う！ 半沢次長は伊勢島ホテルのことを本気で救おうと考えてくれています。

羽根4：そうでしょうか？

湯浅4：うちが金融庁から不良融資先だと分類されたら、今後東京中央銀行からの融資は完全にストップする。そうなったら、うちは生き残れない。それでもいいとおっしゃるんですか？

羽根5：いいわけないじゃありませんか？ 私はあなたが生まれる以前からこのホテルのために尽くしてきました。このホテルのことを誰よりも思ってるのは、社長でもあの半沢という銀行員でもない、この私です。

湯浅5：何か手だてをお持ちなんですか？

羽根6：伊勢島ホテルは私が守ります。

例(10)ではまず「湯浅1」で社長の湯浅が専務の羽根を「あなた」と呼んでいる。

ここで社長の湯浅が専務の羽根を「あなた」と呼ぶ意識下には、社長の自分はまだ若く、社長の経験も浅いが、社長である自分は先代の社長の時代からホテルに勤めてきた専務の羽根より下ではないという認識が明確にある。また、湯浅と羽根は伊勢島ホテルの経営方針に対して敵対しており、両者の間には負の要因による心理的距離感がある。しかし羽根はこのホテルのいわば功労者でもあり、自分より年齢も上であることから、湯浅は羽根を、丁寧さも含意して

いる「あなた」を使って呼んでいる。

また「羽根5」では羽根も湯浅を「あなた」と呼んでいる。

羽根には、現在は社長である湯浅が生まれる前から伊勢島ホテルに勤め、このホテルのために尽くしてきたという自負心がある。したがって、社会的地位として社長である湯浅より専務である自分は下であるが、羽根の意識下には、自分は湯浅より下ではないという認識が強くある。そしてやはり両者は伊勢島ホテルの経営方針に対して敵対しており、湯浅に対して負の心理的距離感がある。しかし湯浅はこのホテルの社長であるため、丁寧さも含意している「あなた」を使って、湯浅を「あなた」と呼んでいる。

例(10)は同一組織内での上下関係が明白である上位者と下位者が、お互いに「あなた」と呼ぶ例であった。この場合、例(8)や例(9)で見たような異なる組織の上位者と下位者がお互いに「あなた」と呼ぶ例と比べて、その対立や対峙の度合いが強いと言えそうである。

以上、例(8)、例(9)、例(10)において、社会的上下関係が明確である両者がともに「あなた」を使用する例を見てきた。この場合、両者は敵対して対峙する関係にある。したがって両者には負の心理的距離感があるが、しかし丁寧にかつ冷静に相手と敵対するために「あなた」が用いられていると言えそうである。

### 3.2.2.5 社会的上下関係が微妙である相手に対して「あなた」を使用する場合

半沢直樹が東京中央銀行大阪西支店の融資部課長だった時に、西大阪スチールは粉飾決算をして5億円を騙し取った。下記の例(11)は、半沢がその西大阪スチールの元経理課長だった波野と、波野が再就職した先の鳥谷造船所の敷地内で話をしている場面（第1話）である。

例(11)

半沢 1 : 探しましたよ, 波野さん!  
 波野 1 : 粉飾なんて私は本当に知らなかった。  
 全部東田のやつがやったことです。  
 半沢 2 : 西大阪スチールの金庫番だったあなた  
だが知らないはずないでしょう。裏  
 帳簿を出してもらえますか?  
 波野 2 : そんなもんありませんよ。全部処分し  
 ました。  
 半沢 3 : いや, あるはずです。東田社長はいつ  
あなたに全責任をなすりつけるか分  
 からない。あいつはそういう男です。  
 そのための切り札として, あなたは常  
 に本物の帳簿を手元に置いているはず  
 だ。三年分出してください。  
 波野 3 : (事務所の中へ移動して) これで満足だ  
 ろう。これ持って, さっさと帰ってく  
 れ!  
 半沢 4 : 東田は今どこにいるんですか?  
 波野 4 : さあ, 倒産以来連絡取ってませんから。  
 半沢 5 : では質問を変えます。東田はどこに隠  
 し持っているんですか?  
 波野 5 : まさか, 何でそんなこと……?  
 半沢 6 : あなた達は, 粉飾だけでなく, 脱税  
 もしていたんじゃないですか? だ  
 としたら, どこかに金を隠し持って  
 いても不思議じゃない。波野さん, もう  
 全部ほんとのことを話してください。  
 金はどこにいくらあるんですか?  
 波野 6 : 知らないんだ。本当に。もう勘弁して  
 くれ! 俺はもう忘れたんだよ。  
 半沢 7 : 都合のいいこと言ってんじゃないぞ。  
あなた達のせいで, どれだけの人間が  
 追い詰められたか分かってるのか?  
あなた一人にだけ, そう簡単に忘れら  
 れてたまるか! 東京中央銀行は今度  
 の件で警察に被害届を出すつもりで  
 す。

波野 7 : 警察?

半沢 8 : そうなれば東田だけじゃない, あなた  
 も共犯だ。

例(11)では, 「半沢 2」, 「半沢 3」, 「半沢 6」で  
 半沢が波野を「あなた」と呼んでいる。

波野は, 粉飾決算をして東京中央銀行から5  
 億円を騙し取った西大阪スチールをすでに退職  
 しているが, 例(11)で半沢は, すでに西大阪スチ  
 ールを退職している波野に対して, 東京中央銀行  
 の行員として西大阪スチールの裏帳簿の件と,  
 社長の東田の居場所について問いただしている。  
 波野はすでに西大阪スチールを退職してい  
 るため, 社会的に半沢の方が上であるとは言  
 い難いが, 半沢は波野の下ではないという微妙な  
 関係だと言うことができる。そして波野を責め  
 る強い口調で, 自分の見解を伝えており, 負の  
 心理的距離感はあるが, 波野は西大阪ス  
 チールを退職していることから, 半沢は当初は  
 辛抱強く丁寧に波野に接し, 波野を「あなた」  
 と呼んでいる。しかし, 「波野 6」での波野の身  
 勝手な発話内容に冷静さを欠いて感情的にな  
 った半沢は, この後, 「半沢 7」と「半沢 8」では,  
 波野を「あなた達」, 「あなた」と呼んでいる。  
 例(11)は, 自分の見解を伝えるのに冷静に礼儀正  
 しく相手に接している時は相手を「あなた」と  
 呼び, 冷静さを欠いて感情的になった後は相  
 手を「あなた」と呼んでいる面白い例である。  
 この例から, やはり「あなた」は話し手が相手  
 に対して自分の感情を抑えた場合に用いられる  
 ことがわかる。そして特に相手に対する負の感  
 情を抑えられなくなった場合には, 丁寧さを含  
 意する「あなた」から他の呼び方に変化する可  
 能性が高いと言うことができる。

次に, 社会的上下関係が個人的価値観によ  
 って判断されている例を見ていく。

下記の例(12)は, 西大阪スチールの詐欺によ  
 って連鎖倒産した中小企業竹下金属を半沢直樹が

訪ねる場面（第1話）での会話である。

東京中央銀行大阪西支店融資部課長の半沢直樹が竹下金属を訪ねたちょうどその時、社長の竹下が首をつって自殺しようとしていた。それを見た半沢が止めに入り、竹下は救われた。そして竹下と初対面の半沢は、西大阪スチール社長の東田の行方を自分と一緒に捜そうと竹下に持ちかける。しかし竹下は東田だけではなく、銀行に対しても不信感を持っており、半沢の提案を断る。

### 例(12)

竹下1：大丈夫か？ ほんまに何で止めに入つたあんたが気失うねん？ これやったら死ぬに死ねんがな。

半沢1：すいません。

竹下2：で、あんた何者や？ うちに何か用か？

半沢2：東京中央銀行大阪西支店、半沢と申します。実は竹下社長が東田社長の行方をご存知なんじゃないかと思ひまして。

竹下3：アホか！ そんな知つとつたら、先に行つてしばき回しとるね。

半沢3：そうですね。

竹下4：聞きたいことはそれだけか？ もう用が済んだらな、はよ帰ってへーこいて寝てくれ！

半沢4：竹下社長、私達は西大阪スチールの被害者同士です。力を合わせて東田の行方を捜しませんか？

竹下5：あほんだら！ アホも休み休み言えよ。確かにうちは東田のせいで倒産した。けどなあ、そうなる前に、何べんも銀行に頼みに行つとるんやないか。あんたとこも行ったで。けど、どこもかしこもなあ、門前払いや。銀行も東田も同類やないか！ 帰れ！ とつと

と帰らんかい！ 荷物まとめて帰らんか！

半沢5：竹下さん、あなたが死んだところで、東田は何の痛みも感じませんよ。私は必ずあの男を見つけ出し、あなたや私が味わった以上の痛みを味わせてやる。人の善意は信じますが、やられたらやり返す、倍返しだ。それが私の流儀なんでね。お力になれることがあれば、いつでもご連絡ください。

竹下は「竹下1」、「竹下2」、「竹下5」で半沢を「あんた」と呼んでいるが、竹下は関西人で、これは関西人特有の相手に対する呼び方なので、ここでは問題にしない。

半沢の提案を断った竹下に対して半沢は、「半沢5」で竹下のことを「あなた」と呼んでいる。大手銀行対中小企業の人間の上下関係は、常識的には大手銀行が上位者で中小企業が下位者というのが一般的認識である。しかし、半沢の父は零細企業のネジ工場の社長で、非常に苦勞した。この父の苦勞を見て育つた半沢は竹下に対して親近感を持ち、見下げるといふ認識はなく、自分と竹下を対等な関係と認識していると判断できる。しかしこの日、半沢は竹下と初対面であり、当然心理的な距離感はある。つまり半沢は竹下に対して自分と対等であるといふ認識を持ち、そして初対面であるので正負に関係ない心理的距離感を感じながら丁寧に対応するために、竹下を「あなた」と呼んでいる。

以上、例(11)と例(12)では社会的上下関係が微妙である相手に対して「あなた」を使用する例を見てきた。これらの例に共通しているのは、相手に対する対等な認識と、相手に対して冷静かつ丁寧に接しようとする話し手の認識である。

### 3.2.2.6 社会的上下関係が微妙である両者がともに「あなた」を使用する場合

下記の例(13)と例(14)は、同一組織内での上下関係が微妙である両者がお互いに相手を「あなた」と呼ぶ例である。

近藤は東京中央銀行からタミヤ電機に総務部長として出向させられ、その籍はまだ東京中央銀行にあるので、近藤と田宮社長の上下関係は微妙である。

例(13)は、タミヤ電機の事務室で、東京中央銀行からタミヤ電機に総務部長として出向している近藤直弼が、出向先の中小企業タミヤ電機社長に、東京中央銀行からの融資の件を報告する場面（第6話）である。

#### 例(13)

社長1：どうするんですか？ 近藤さん。

近藤1：申し訳ありません。社長、中期の事業計画書のほうは考えていただきましたか？

社長2：事業計画書？ そんなものなくたって、今までは融資を取れていたんだよ。君に原因があるんじゃないの？

近藤2：簡単なものでも結構ですので、計画書を……

社長3：モーツアルトの言葉を知ってるか？

近藤3：はあ？

社長4：曲を催促された時、彼はこう言うんだよ。心配するな、もうできた、曲は……ここにある（言いながら頭を指す）。事業計画書などいちいち書かなくてもこれくらいの会社なら、問題ないんだよ。しかし、とにかく少しは頭使ってくださいよ（言いながら近藤の頭をたたく）。銀行の知り合いに頼んで、裏から手を回してもらうとか、やり方はいくらでもあるでしょう。あなたのためにここにいるんですよ（言

いながら近藤の胸を打つ）。

例(13)では田宮社長は近藤のことを「社長1」では「近藤さん」、「社長2」では「君」と呼んでいるが、「社長4」では「あなた」に変化している。

銀行から借入れができなければタミヤ電機は倒産するおそれがあり、そのために出向元の銀行へ融資を取り付けるのが近藤の役目だが、近藤はなかなかそれを実現できずにいた。そこで田宮社長は「社長1」で近藤に対して「近藤さん」と呼びかけているのに、「社長2」では上からぞんざいな言い方で、「君に原因があるんじゃないの？」と言っている。そして「社長4」では丁寧さを含意する「あなた」を使用しているが、そこには、自分は近藤より上位者であるという認識と、近藤を能力的に見下して嫌みを言うという心理が伺え、「あなた」の含意する丁寧さと相まって、近藤を突き放すような冷たさが感じられる。これは下谷 2012 で述べられている「認識的優位性」がもたらす心理的距離感である（2. を参照）。

次に下記の例(14)は、タミヤ電機の本務室で、近藤と経理課長の野田と社長の田宮が帳簿について話している場面（第7話）である。

近藤はタミヤ電機の社長以下すべての社員から疎外され、メンタルに弱り切っていた。しかし東京中央銀行同期入社半沢に励まされ、自信を取り戻していく。例(14)は、偶然に会社の裏帳簿を見つけた近藤が、社長に対して堂々とした態度で接している会話である。

#### 例(14)

近藤1：なぜ同じ帳簿が2つあるんですか？

しかも中の数字が違っている。こちらの数字が正しいとなると、黒字だったはずのここ5年間で、うちは4千万の赤字だったということになるが、

どっちが正しいんだ？ 野田さん！

野田1：それをどこから？

近藤2：あなたが一番よく分かってるだろう？ あのキャビネットの中だ。

野田2：しかしあそこには鍵が……

近藤3：お前の机の中にスペアキーがあることぐらい知ってる。

社長1：まあ、近藤さん、これは何かの手違いだろう。確認するから、あとは私に任せてくれ！

近藤4：社長もご存知だったんでしょう？

社長2：何を言うんだね、私は何も……

近藤5：この中にはあなたが目を通したサインも残っています。これは紛れも無く裏帳簿だ。タミヤ電機は5年も前から赤字を隠し、粉飾して、不正に融資を得てましたね。

社長3：だったら、どうする？ ばらすのか？ 銀行に？

近藤6：当然でしょう！ 全部正直に話さない限り、真の解決はありえません。

社長4：解決どころか、そんなことしたら、取り引き打ち切りになるんじゃないのか？

近藤7：どうなるかはあなた次第だ、田宮社長！ こんな小細じゃなく、本当にこの会社を再建していこうという気構えがありますか？ もしあるのなら、私は全力で銀行を説得します。この会社の経理部長として。

例(14)では近藤は「近藤2」で「あなた」と言っているが、これは経理課長の野田に対して言っている。そして自信を取り戻した近藤は「近藤3」で野田のことを「お前」と言っている。野田に対するこの呼び方の変化は近藤の自信の表れを表現している。しかし、ここではこれ以上この問題には触れない。

次に近藤は「近藤5」と「近藤7」で田宮社長を「あなた」と呼んでいる。ここでの近藤には自分は社長の下ではない、あるいは社長と同等であるという認識があり、また社長の不正に対する負の心理的距離感がある。さらにこの社長の不正に対して冷静かつ丁寧に対峙していこうとする認識によって、近藤は社長の田宮に「あなた」を使っている。

例(13)では社長の田宮が近藤を見下して近藤を「あなた」と呼んでいる。また、例(13)では社長の田宮に対して対等にももの言うことのできなかった近藤が、例(14)では田宮と対等な位置あるいはそれ以上に自分を押し上げて、社長と対峙しながら、冷静かつ丁寧に相手に接して田宮を「あなた」と呼んでいる。

### 3.2.2.7 社会的関係が不明である両者がともに「あなた」を使用する場合

最後に、社会的関係が不明である両者がお互いを「あなた」と呼んでいる例を見ていく。

例(15)は、東京中央銀行大阪西支店融資部課長の半沢と支店長の浅野が、携帯電話メールのやり取りをしている例である（第5話）。半沢は発信者が誰であるのか分からないようにして支店長の浅野にメールを送っており、この時に相手の浅野を「あなた」と呼んでいる。一方の支店長の浅野も、発信者が誰であるのか分からないので、誰であるのか分からない相手に対して「あなた」を使用している。そしてお互いを「あなた」と呼び合うことで、対等に対峙した緊張関係が生まれている。

#### 例(15)

半沢1：5千万もらったんですね。

浅野1：またあなたですか？ いったい何のことですか？

半沢2：3月29日ニューヨークハーバー信託の東田の口座から、関西シテイ銀行藤

沢未樹名義の口座を経由して、同じく関西シティ銀行の「あなた」の口座に振り込まれた、報酬5千万のことですよ。

浅野2：やはり誤解があるようです。「あなた」は誰ですか？ 会ってご説明させてください。

半沢3：誤解？ そうですか？ では本当に誤解かどうか警察に調べてもらうことにします。あと銀行、それにマスコミにも口座の取引記録を送っておきますね。「あなた」の獄中生活を想像すると楽しみです。それに、「あなた」の奥さんや子供たちがマスコミに取り囲まれるところが早く見たい。

浅野3：それだけは勘弁してください。どうか家族だけは……

半沢4：だったら、「あなた」のすべきことは一つしかない。銀行と部下に対して自分の罪を認め、償うことです。「あなた」をどうするかは、その部下が決める。

まず、半沢の使用している「あなた」について考察していく。半沢は浅野の悪事についてすべてを把握している。そして自分の個人情報、つまり自分の社会的や個人的な特徴や特性、例えば名前、性別、年齢、職業、社会的身分などの個人情報を一切隠しているの、完全に自分が浅野の上の立場に立って発言している。さらに半沢は浅野に対して恨みを持っており、心理的には負の相当な距離感がある。しかし自分の感情を抑え、冷静に礼儀正しく相手に対応するため、相手を「あなた」と呼んでいる。

次に浅野が使っている「あなた」について分析していく。浅野にメールを送った相手は、浅野にとっては誰であるのか分からない相手、つまり個人が持っている社会的や個人的な特徴や特性、例えば名前、性別、年齢、職業、社会的

身分などの個人情報が全くあるいはほとんど分からない相手である。このような状況においては、浅野は相手に対して、自分は相手より下ではないと認識している。あるいは自分の方が上か、対等な関係にあると認識している。そして相手が誰であるのか分からない場合には、必ず負の心理的距離感がある。しかしその心理的不安感を抑え、相手に丁寧に接しようとする判断から、相手を「あなた」と呼んでいる。

もともと「あなた」は、自分や相手から遠い場所や方向を指す指示代名詞であり、相手が誰であるのか分からない場合には、この原義が生きてくると言うことができる。

つまり例(15)は、相手が持っている社会的や個人的な特徴や特性、例えば名前、性別、年齢、職業、社会的身分などの個人情報が全くないか、あるいはほとんどない場合の例と言うことができ、このような場合に、自分の感情を抑えて冷静に、そして相手に対して丁寧に接するという意識から「あなた」が選択されていると言える。

### 3.3 「あなた」のまとめ

以上、ドラマ「半沢直樹」に出てきた「あなた」の使用例を、話し手と聞き手の社会的上下関係をベースとして、詳細に分析した。例(1)から例(15)の「あなた」をまとめると、以下のようになる。

- A. 「あなた」は、話し手と聞き手の社会的上下関係において、上位者が下位者に対して、下位者が上位者に対して、対等な関係にある相手に対して、さらには関係性の不明な相手に対しても使用可能である。
- B. 「あなた」と相手を呼ぶ場合、話し手は聞き手に対して、社会的上下関係において、あるいは人間として、自分は聞き手より上であるか、あるいは同等であると認識

している。

- C. 「あなた」を使用する場合、そこには必ず話し手の相手に対する心理的距離感がある。
- D. その距離感を生む心理的要因には、プラスの感情の場合もマイナスの感情の場合もあり、さらにどちらとも言えない場合もある。しかし、いずれの場合であっても話し手が相手に対して「あなた」を使用する場合には、話し手は相手に対して自分の感情を抑えて接するので、「あなた」には話し手の相手に対する丁寧さが含意されることとなる。

次章では、これらを踏まえて、「あなた」と対称詞の中のその他の人称名詞とを比較することにより、「あなた」の本質を明らかにしていく。

#### 4. 「あなた」の本質

本稿では、「あなた」を「人称名詞」と呼んできた。まず4.1においてその理由を述べ、4.2において、「あなた」と対称詞の中のその他の人称名詞との相違を見ていくことによって、「あなた」の本質を探っていく。

##### 4.1 「二人称代名詞」と「対称詞の人称名詞」

日本における国文法は、ヨーロッパの言語の文法を規範として明治以降に造られた。ヨーロッパの言語においては、話し手と話しの相手および第三者を示すことばは「人称代名詞」と呼ばれる。これに従って国文法においても「わたし」「あなた」「かれ／かのじょ」などを「人称代名詞」と呼んできた。しかしヨーロッパの

言語においては話し手と話しの相手および第三者を示すことばは極めて限られた数のことばから成り立っている。例えば英語では自分を'I', 相手を'you', 第三者を'he / she'と言う。

鈴木 1973 は、日本語には人称代名詞はないという立場をとっている。その理由は、日本語では自分を言う語は例えば「わたし」「わたくし」「ぼく」「おれ」はもちろんのこと、その他、親族呼称や職業名なども自分を言う語として使うことができ、また相手のことは「あなた」「きみ」「おまえ」などの他、親族呼称や職業名、名前などもほとんどすべて相手と呼ぶ言葉として使用することができるからである<sup>(7)</sup>。

これらのことから、鈴木 1973 では「日本語には西欧語のような人称代名詞はない」と結論付け、「「わたし」「おれ」や、「おまえ」「あなた」などを人称代名詞とよぶことは、日本語の事実から遊離した、異質の文法概念の直訳的輸入にすぎないことが明らかであると思う。」と述べられている<sup>(8)</sup>。そしてさらに「日本語のいわゆる狭い意味での人称代名詞は、他の語彙から独立した、一つのまとまった語群を、形体論的にも機能の見地からも形作っていない以上、これだけを切り離して扱う意味がなく、むしろ、親族名称、地位名称などと一括して、話し手が自分を表わすことば、および相手を示すことばという広い見地に立って、それぞれを自称詞、対称詞と呼ぶ方が適切である。対話の中に登場する第三者は他称詞と呼ぶことになる。」と述べている<sup>(9)</sup>。

本稿もこの立場に立ち、自分を示すことばを「自称詞」、相手を示すことばを「対称詞」、第三者を示すことばを「他称詞」と捉える立場をとっている。

(7) 鈴木 1973 の第六章参照。

(8) 鈴木 1973 の p. 134 参照。

(9) 鈴木 1973 の p. 134 参照。

また、田窪 1997 では日本語の人称を表す語類 (例えば「あなた、わたし」など) を「人称詞」と呼んでいる。その理由を以下のように述べている<sup>(10)</sup>。

「人称代名詞という範疇は基本的に性数格の一致のある言語において、その一致特性のみを担う範疇である。したがって、名詞と区別された統語範疇としての代名詞は閉じた語類で、原則的に語彙の出入りはない。これに対して、「あな、わたし」等、日本語の人称をあらわす語類は、必要があれば外来語からでも流入できる。例えば、「ユー」、「ミー」を話し手、聞き手を指すために使うこともできる。これらは開かれた語類であり、他の名詞類と区別する文法的理由はない。そこでこれらの語類を人称名詞と呼ぶ。」

本稿もこの立場に立つものである。

そこで本稿では、鈴木 1973 と田窪 1997 の見解を踏まえ、「あなた」を日本語の対称詞の中の人称名詞の 1 つと捉える。

#### 4.2 「あなた」と対称詞の中のその他の人称名詞との相違

日本語の対称詞の中の人称名詞には「あなた」の他に「お前」、「あんた」、「君」などがある。以下で、「あなた」と「お前」、「あんた」、「君」との使用の相違を比較していく。

##### 4.2.1 「あなた」と「お前」、「あんた」、「君」

「あなた」と「お前」、「あんた」、「君」の相違を考察するにあたり、先の 3.2.2 で「あなた」について分析した分類をベースに、比較していく。

ここでもう一度その分類を示しておく。

- (1) 社会的上位者が下位者に対して「あなた」を使用する場合

- (2) 社会的に同等な関係にある相手に対して「あなた」を使用する場合  
 (3) 社会的下位者が上位者に対して「あなた」を使用する場合  
 (4) 社会的上下関係が明確である両者がともに「あなた」を使用する場合  
 (5) 社会的上下関係が微妙である相手に対して「あなた」を使用する場合  
 (6) 社会的上下関係が微妙である両者がともに「あなた」を使用する場合  
 (7) 社会的関係が不明である両者がともに「あなた」を使用する場合

なお「あんた」と「君」は男女ともに使用されているが、「お前」は通常は男性言葉であるので、以下での使用の可否の判断には、このことも考慮に入れている。

- (1) 社会的上位者が下位者に対して「お前」、「あんた」、「君」を使用する場合  
 1. ○「お前」、○「あんた」、○「君」  
 →すべて使用可能。  
 2. すべて使用可能であるが、使用した場合のニュアンスはそれぞれ異なる。
- (2) 社会的に同等な関係にある相手に対して「お前」、「あんた」、「君」を使用する場合  
 1. ○「お前」、○「あんた」、○「君」  
 →すべて使用可能。  
 2. すべて使用可能であるが、使用した場合のニュアンスはそれぞれ異なる。  
 3. 両者が同等な関係にある場合、両者ともお互いに使用可能である。
- (3) 社会的下位者が上位者に対して「お前」、「あんた」、「君」を使用する場合

(10) 田窪 19987 の p. 14 参照。

1. ×「お前」, ×「あんた」, ×「君」  
→通常の状況ではすべて使用不可能。
  2. もし使用する場合があるとすれば、それは「お前」と「あんた」であり、その場合には下位者が上位者に対して強い怒りや不満などの負の感情を持っている場合に限定され、しかもそれは話し手の冷静さと、聞き手に対する丁寧さを全く欠いた罵倒に近い表現となる。
  3. 「君」は全く使用不可能である。
- (4) 社会的上下関係が明確である両者がともに「お前」, 「あんた」, 「君」を使用する場合この場合は上記の「(1)+(3)」に近い結果になる。
- (5) 社会的上下関係が微妙である相手に対して「お前」, 「あんた」, 「君」を使用する場合
1. ○「お前」, ○「あんた」, ○「君」  
→すべて使用可能。
  2. この場合はすべて相手に対して丁寧さのないぞんざいな対応という印象を与える。
- (6) 社会的上下関係が微妙である両者がともに「お前」, 「あんた」, 「君」を使用する場合この場合も(5)と同様であり、すべて相手に対して丁寧さのないぞんざいな対応という印象を与える。
- (7) 社会的関係が不明である両者がともに「お前」, 「あんた」, 「君」を使用する場合この場合も(5)や(6)と同様である。

これらの結果をまとめると、以下のようになる。

- a. 「お前」, 「あんた」, 「君」は、社会的上位

者が下位者に対して使用する場合には、すべて使用可能である。

- b. 「お前」, 「あんた」, 「君」は、社会的下位者が上位者に対して使用する場合には、通常の状況ではすべて使用不可能である。
- c. 社会的に同等な関係にある相手に対しては、両者ともお互いにすべて使用可能である。
- d. 社会的上下関係が微妙であるか不明である相手に対しては、すべて使用可能であるが、その場合には、相手に対して丁寧さのないぞんざいな対応という印象を与える。

以下では、これらを踏まえて、「あなた」の本質を考察していく。

#### 4.2.2 「あなた」の本質

ヨーロッパ語や中国語の人称代名詞は、話し手と聞き手の間で相互交換が可能である。これを具体的に説明すると、例えばAが話し手の時、自分を「I」や「我」と言い、聞き手のBを「you」や「你」と呼ぶ。そしてこの役割が入れ代わってBが話し手となれば、Bは自分を「I」や「我」と言い、聞き手となったAを「you」や「你」と呼ぶ。この「I」と「you」, 「我」と「你」の関係が、話し手と聞き手の間で相互交換が可能ということである。そしてこの場合、「I」と「you」, 「我」と「你」はコミュニケーションを取る上で対等に対立した関係にあるとすることができ、コミュニケーションの上において、「I」や「我」は話し手であるということの意味しているに過ぎず、また「you」や「你」は聞き手であるということの意味しているに過ぎないということでもある。

そこで日本語の対称詞の中の人称名詞を、先の3.2の「あなた」のまとめと4.2.1の「お前」, 「あんた」, 「君」のまとめを比較することによ

て考察すると、次のように言うことができる。

- I. 話し手と聞き手がどのような社会的上下関係にあっても、さらに、その関係が不明の場合であっても使用が可能であるのは、「あなた」、「お前」、「あんた」、「君」の中では「あなた」だけである。
- II. 「お前」、「あんた」、「君」などと比べて「あなた」は話し手と聞き手の両者がお互いに使用することが許される（相互交換が可能）という可能性が高い。

これらのことから、英語の 'I' と 'you' や中国語の '我' と '你' の関係性<sup>(11)</sup> に一番近いものが、日本語においては「わたし」と「あなた」なのだということが言えそうである。そしてこれが日本語の対称詞の中の人称名詞の「あなた」と「お前」、「あんた」、「君」などとの相違であり、「あなた」の本質である。

## 5. 日本語の初級教育における「あなた」の必要性

次に、外国人に対する日本語教育における「あなた」について考察する。

外国人が日本人と接する場合、相手の日本人の個人情報を含く持たない場合、具体的には相手の名前や年齢、職業など、自分と相手との社会的関係などが全く分からない場合、自分と相手との社会的上下関係は不明である。そして当然そこには相手との心理的距離感もある。そのような相手とコミュニケーションを取る場合、相手を指す表現をしないのも、日本語においては一つの方法である。しかし、相手を指す表現が必要な場合もあるはずである。その場合にはどうしたらよいのであろうか。

上記の4.2.2において「あなたの本質」について述べたが、ヨーロッパ語や中国語の一般的な二人称代名詞 '你' と「あなた」との違いは、「あなた」が丁寧さを持っていることである。英語の 'you' や中国語の '你' には、「あなた」のような、相手に対する丁寧さは含意されていない。「あなた」はもともとは自分や相手から遠い場所や方向を指す指示代名詞であり、「遠くを指す」というところから、話し手の聞き手に対する何らかの心理的距離感が生まれ、その心理的距離感から相手に対する丁寧さが生まれているということができる。そしてさらに、日本語母語話者同士の間で「あなた」を使用する場合、この丁寧さを生む心理的要因が、相手に対するプラス評価である場合には相手を尊敬するなどの意味が付与され、また相手に対するマイナス評価である場合には相手を憎む、相手に疑念や不信感を持つ、相手にライバル心を持つ、相手と敵対する、相手を見下すなど、現実にはさまざまな意味が付与される。

しかし、「あなた」にはこのように話し手の聞き手に対する心理的評価が含意されてはいるものの、4.2.2 で見たように、日本語において、自分と相手との社会的上下関係や、名前、性別、年齢、職業といった各個人の持つ特徴や特性を考慮に入れずに使用できる対称詞の人称名詞は、日本語においては「あなた」だけである。しかも「あなた」には、話し手の相手に対する丁寧さが含意されている。日本語の初級教育において「あなた」を教えないという方法もあるかも知れない<sup>(12)</sup>。しかしこのような「あなた」の特性を考慮すれば、やはり外国人に対する日本語の初級教育において、日本語の対称詞の中の人称名詞としては「あなた」を教えるのが妥当であり、またそれは必要なことであると言う

(11) 村松 1998 と 1999 参照。

(12) 水谷信子監修『入門日本語』には「あなた」は出てこない。

ことができる。

今回言語資料としたドラマ「半沢直樹」は10回の連続ドラマとして放送され、合計約550分程度のドラマである。その中で「あなた」が使用されたのはわずか48場面しかなく、さらに第4話では「あなた」は1度も使用されていなかった。このことは、現代の日本社会の中で「あなた」が使用される場面が非常に少ないことを意味している。日本語の初学者に、知らない相手を指す人称名詞として「あなた」を教えるのが妥当であり、またそれは必要なことであると上述した。しかしまた、日本語の中上級学習者に対しては、日本語母語話者同士の間での「あなた」の使用には、英語の‘you’や中国語の‘你’と違って、相手に対する丁寧さを含意すると同時に、話し手の聞き手に対する心理的評価が含意されることを説明する必要がある。そして特に社会的上下関係における下位者から上位者に対する「あなた」の使用には、細心の注意が必要であることを説明しなければならない。

## 6. おわりに

「あなた」をさらに詳細に調べていくと、その使用には地域差が大きくあることが分かる。

日本語は、話し手が自分と聞き手との間のさまざまな関係を把握していないと、コミュニケーションの取りにくい言語である。その結果、コミュニケーションを取る上で、話し手と聞き手が「対等に対立している関係にある」と捉えられる社会環境が用意されている地域においては、「あなた」が使用されやすく、そうでない地域においては、「あなた」の使用には大きな抵抗があると言えそうである。しかし、外国人に対する日本語教育の中で「あなた」が教えられ、また今後、日本語学習者が増加することによって外国人が「あなた」を使用するケースが

増えると、そのことによって日本語母語話者同士の間での「あなた」の使用にも変化が生じていくかも知れない。

## 参考文献

- 『みんなの日本語』（1998）スリーエーネットワーク  
 大高博美（1999年）「日本語における対象指示語彙選択のストラテジー」『言語と文化』通号2、関西学院大学言語教育センター紀要  
 梶原真樹子（2004年）「日本語における対称詞「あなた」の使用領域について」信州大学留学生センター紀要5  
 佐久間鼎（1951年）『現代日本語の表現と語法』くろしお出版（1983年改訂版）  
 下谷麻記（2012年）「自然談話における二人称代名詞「あなた」についての一考察—認識的優位性（Epistemic Primacy）を踏まえて—」『関西外国語大学留学生別科、日本語教育論集22号』  
 鈴木孝夫（1973年）『ことばと文化』岩波新書  
 （1975年）『ことばと社会』中央公論社  
 （1985年）「自称詞と対称詞の比較」『日英語比較講座5—文化と社会』大修館書店  
 （1996年）『教養としての言語学』岩波新書  
 （2009年）『日本語教のすすめ』新潮新書  
 田窪行則（1992年）「言語行動と視点一人称詞を中心に—」『日本語学』11巻9号、明治書院  
 （1997年）「日本語の人称表現」『視点と言語行動』くろしお出版  
 竹内直也（2003）「現代日本語における対称代名詞の特性—一人称詞の観点から—」『国文学』46巻1号 学習院大学  
 文化庁国語課（1994年）『異文化理解のための日本語教育Q & A』  
 村松恵子（1998）「現代中国語における‘我’と‘你’（一）」『名城大学人文紀要』第59集  
 （1999）「現代中国語における‘我’と‘你’（二）」『名城大学人文紀要』第60集  
 水谷信子監修（2007）『入門日本語』アルク  
 Kumiko Takahara 1992 “Second Person Deixis in Japanese and Power Semantics” Intercultural Communication Studies II: 1